

本資料は 2018 年 10 月 11 日 (現地時間)、インド・ムンバイにて発表されたプレスリリースの抄訳です。
発表内容の詳細は原文をご覧ください。

【原文 URL】 <https://www.tcs.com/content/dam/tcs/investor-relations/financial-statements/2018-19/q2/IFRS/Press%20Release%20-%20USD.pdf>

【ご参考資料】

報道関係者各位

2018年10月15日

日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ株式会社

デジタル分野の需要増加により2桁成長を達成 デジタル分野の売上高は28%、前年同期比60%増を記録

- 売上高は前年同期比 10%増、恒常通貨ベースでは11.5%増
- 営業利益率は26.5%、前年同期比144bps*増
*book-value per share: 1株当り純資産
- 純利益は前年同期比11.9%増

ムンバイ | 2018年10月11日: ITサービス、コンサルティングおよびビジネスソリューションのリーディングカンパニーであるタタコンサルタンシーサービスズ(本社:インド・ムンバイ、以下「TCS」)は、Ind AS(インド会計基準)とIFRS(国際財務報告基準)に基づき、2018年9月30日を末日とする四半期の連結決算を発表しました。

2018-19年第2四半期の業績ハイライト

- 売上高: 52億1,500万ドル、前年同期比10%増
- 純利益: 11億1,900万ドル、前年同期比11.9%増
- 営業利益率: 26.5%、前年同期比1.4%増
- 1株当り利益: 0.29ドル、前年同期比11.9%増
- 営業活動によるキャッシュフロー: 10億4,200万ドル、純利益の93.2%相当
- 1株当り配当額: 4.00ルピー
基準日は2018年10月24日、支払日は2018年10月30日を提案

2018-19年第2四半期の事業ハイライト

- 銀行・金融・保険(BFSI)分野は前年同期比6.1%増、小売部門は15.6%増の成長を達成
- 英国と欧州が成長を牽引、それぞれ前年同期比22.8%増と17.4%増を達成
- 各分野にわたって新規顧客を獲得、1億ドル超の顧客に4社、2,000万ドル超の顧客に7社、1,000万ドル超に10社、100万ドル超の顧客に11社が新たに加わる
- アジャイル開発に対応した世界最大の人材を擁し、279,000人超の従業員がアジャイルの研修を受講
- 第2四半期の総従業員純増数は、直近12か月間で最高の10,227名を記録
- 業界最高レベルの従業員保持率を記録し、直近12ヶ月のITサービス部門の離職率は10.9%を記録

TCS CEO (最高経営責任者) 兼 マネージングディレクターのラジェシュ・ゴピナタン (Rajesh Gopinathan) は、第2四半期の業績について、次のように述べています。

「第2四半期の事業全体における優れた業績をたいへん喜ばしく思います。さまざまな分野にわたるデジタルトランスフォーメーションへの需要拡大と、銀行・金融・保険 (BFSI) 分野および小売分野の継続的な加速により売上高が成長しました。私たちは、業界を牽引するデジタル分野での成長とトップクラスの顧客構成により、成長とビジネス変革を目指す顧客からパートナーに選ばれています。TCSはBusiness 4.0に関するソートリーダーシップ、柔軟性に優れた知見、あらゆる分野における顧客対応能力によって差別化を図るとともに、ソリューションとサービスへの需要を拡大しています。TCS独自の「マシンファースト・デリバリーモデル (Machine First Delivery Model (MFDM™))」や「ロケーション・インディペンデント・アジャイル (Location Independent Agile: 地理的な制約にとられないアジャイル開発)」は顧客の事業の自動化に貢献し、人とマシンの相乗効果を促し、優れたカスタマーエクスペリエンスを幅広く提供します」

TCS COO (最高業務執行責任者) 兼 エグゼクティブディレクターのN. ガナパシー・スブラマニラム (N. Ganapathy Subramaniam) は、次のように述べています。

「アナリティクス、クラウド、および自動化をはじめとする分野の需要が好調で、きわめて優れた成果を収めた四半期となりました。TCSのブロックチェーンソリューション「Quartz™」への注目が高まっており、市場に変革をもたらすエコシステムが徐々に形成されつつあります。「Enterprise Agile 2020」のビジョンは、オープンで協業的な職場環境とアジャイルな働き方を醸成しています。これは「マシンファースト・デリバリーモデル」とともに自動化を推進し、仕事への新たな意義の発見、すなわち、マシンに文脈的知識を授けること、ビジネス規模を拡大すること、さらにはエコシステムの創造を促進しています。この“マシンファースト”の世界で人材に重きを置いた私たちの手法は、顧客から成長、競争力、およびイノベーションを推進するための主軸として受け容れられています」

TCS CFO (最高財務責任者) のV. ラマクリシュナン (V. Ramakrishnan) は、次のように述べています。

「営業利益率を目標水準に引き戻せたことを心強く思います。デジタル分野でのリーダーシップ構築に向けた投資を拡大するなか、的確な業務遂行、成長軌道の改善、および有利な為替レートにより、利益率の回復力を維持しています」

第2四半期の部門別ハイライト

産業分野別:

第2四半期にはBFSI (6.1%増、第1四半期は4.1%増)と小売・消費財 (CPG: Consumer Packaged Goods) (15.6%増、第1四半期は12.8%増)で売上成長が加速しました。エネルギー・公益事業産業 (22.2%増)とライフサイエンス・ヘルスケア産業 (14.7%増)を含む他の分野も大きな成長を達成しました。

市場別:

英国 (22.8%増)、欧州 (17.4%増)、およびアジア太平洋 (12.5%増)が成長を牽引しました。北米での成長も第1四半期の7%から8.1%に拡大し、インドは7.4%の成長を達成しました。

サービス分野別:

ビジネス & テクノロジーサービスが複数のサービス分野にわたり、大幅な売上高の増加を達成しました。新たなサービスやオフリング、資産、ソートリーダーシップ、およびイノベーションへの投資が、案件獲得と受注パイプラインの拡大、さらに顧客やアナリストからの高評価やソートリーダーシップ関連の出版物として実を結んでいます。

コンサルティング&サービスインテグレーション:

フルステークホルダー戦略が案件獲得として成果を生み、顧客にエンド・ツー・エンドのトランスフォーメーション・イニシアティブを提供しています。当四半期にはエンタープライズ・アジリティ・サービス、M&A、およびファイナンス・トランスフォーメーション・サービスをはじめとする、経営レベルの優先項目に対応した戦略的オファリングが大きく普及しました。

デジタルトランスフォーメーションサービス:

成長と変革のためビジネス再構築を導き、それを形づくるTCSのBusiness 4.0™のソートリーダーシップ・フレームワークが、顧客から引き続き評価されています。当四半期にはクラウドサービス、アナリティクス、IoT、インタラクティブサービス、サイバーセキュリティ、および自動化ソリューションのすべてが大きく成長しました。新たなサービス分野であるブロックチェーン、デジタルワークスペース、およびクオリティエンジニアリング&トランスフォーメーションで受注パイプラインが順調に拡大しています。

コグニティブビジネスオペレーション:

着実かつ大規模な成長を達成し、「マシンファースト・デリバリーモデル」をはじめとするTCSのデジタルイノベーションによるカスタマーエクスペリエンス改善などの需要により、TCSの包括的かつ効果的なアプローチは従来に引き続き、顧客から高い評価を獲得しています。

第2四半期の主な契約案件

- 英国有数の小売企業から、バーチャルパーソナルアシスタント(VPA: Virtual Personal Assistant)を活用した次世代の双方向テクノロジーにより、店舗における顧客体験を改善する案件を受注しました。TCSは「マシンファースト・デリバリーモデル」を活用し、協業的、アジャイル、かつスマートな職場を作り出すことにより、組織横断的な効率改善を目指し業務を最適化に取り組んでいます。
- オーストラリアの大手有料TVプロバイダーから、TCSインタラクティブサービスをアジャイルファーストのデリバリーモデルとともに用い、既存のオンラインチャンネルを再構築することによって優れたカスタマーエクスペリエンスの提供を目指す案件を受注しました。
- 北米のプラスチックおよび紙容器製品メーカーから、TCSが業界をリードするクラウドベースのERPソリューションを用い、複数のERPシステムをひとつのグローバルなプラットフォームに統合するプロジェクトのパートナーに選ばれました。
- 米国有数の航空会社から、提供までの時間を短縮するため複数言語に対応した、複数の市場に向けたデジタルチャンネルソリューションを設計することにより顧客体験を向上する案件を受注しました。
- 米国最大の農業関連企業から、アプリケーション、インフラストラクチャ、およびセキュリティサービスに「ignio™ (イグニオ)」と「Mastercraft™ (マスタークラフト)」プラットフォームを使用し、複数年にわたってトランスフォーメーションおよびマネージドサービスを提供する案件を受注しました。
- ドイツの大手銀行から、その暗号手法エンジニアリングソリューションの品質保証を対象とした運用モデルを設計し、同行が新たな収益チャンネルを見出すためそのパートナーシップエコシステムの活用を実現するパートナーに選ばれました。TCSは集約化されたクオリティエンジニアリングサービス部門を設立し、また既存のビジネスの枠組を他の地域にも展開するためのロードマップを提供します。
- スウェーデン最大の保険会社から、TCS Cloudプラットフォームを活用した職場の仮想化により、利便性とセキュリティを兼ね備えたワークスペース(WaaS: Workspace-as-a-Service)の導入を可能とするプロジェクトを受注しました。TCSはまたセキュリティ運用サービス、情報アシュアランス、および複数のITセキュリティマネジメントサービスの提供を通じ、セキュリティレベルの向上を目指します。

- 米国有数の金融機関から、ワールドクラスの自動化技術を活用した円滑なカスタマーエクスペリエンスへの移行と、TCS Digital Service Desk ソリューションの導入を支援するパートナーに選ばれました。
- 英国の多国籍銀行業務および金融サービス企業から、デジタルにより金融サービス部門を変革し、また SAP S4/HANAの機能を活用し、規制関連の報告を支援するデータプラットフォームを導入するパートナーに選ばれました。
- アフリカ有数の航空会社から、TCS Revenue Recovery Solutionの導入を通じ、乗客が搭乗する際のカスタマーエクスペリエンスを向上すると共に、収益機会の逸失を防止するためのパートナーに選ばれました。
- 世界有数のソフトウェア企業から、カスタマーリレーションシップを向上し、広告プラットフォームへの投資を収益化するためのパートナーに選ばれました。
TCSは、同社のデジタルマーケティング、キャンペーンアナリティクス、およびビジネスインテリジェンス変革を通じ目標を実現する予定です。
- 北米有数の銀行から、TCS DATOM[®]フレームワークを活用した証券データのポートフォリオ分析と推奨を通じ、データガバナンス、データ品質、およびメタデータのギャップ修復を行うパートナーに選ばれました。
- 中東有数の小売企業から、IT環境を簡素化するとともにスピードと柔軟性を改善し、またユーザーエクスペリエンスを大きく高めるため、ignio[™]をエンジンとするエンタープライズアプリケーションおよびインフラストラクチャ・トランスフォーメーションの案件を受注しました。
- 米国最大の小売企業から、アジャイルで柔軟な、かつ自己修復機能を備えたインフラストラクチャ構築を支援するため、ITインフラストラクチャの変革とともにTCSの認識的自動化ソリューションを展開するパートナーに選ばれました。
- フランスの多国籍複合石油ガス企業であるTotalからDigital Innovation Centre構築の案件を受注しました。このプロジェクトでは、リアルタイムのデータアナリティクス、IoT、自動化、人工知能、およびアジャイルテクノロジーの活用を通じて精製所のパフォーマンスを高めるため、効率性、エネルギー消費、および稼働率の改善が焦点となります。
- 米国の多国籍金融サービス企業から、Hyperledger Fabric (オープンソースのブロックチェーン) の活用によって全事業部を一体化するブロックチェーンベースのプラットフォームソリューションにより、複数の事業部門にわたりプロジェクトを管理できる集約的なリポジトリ設計を受注しました。

リサーチ&イノベーション

- TCS Optumera[™]がAiconicsにて、300の候補の中から「Best Application of AI in the Enterprise」に選ばれました。
- TCS Analytics & Insightsが提供する「DecisionFabric[™] for Pharmacovigilance」が、CMO Asia Awards 2018にて「Usage of Technology for Operational Excellence」を受賞しました。
- TCSの研究者が「Challenge of the DST-Lockheed Martin - Tata Trusts India Innovation Growth Programme (IIGP) 2.0 for 2018」を受賞しました。

2018年9月30日現在、TCSは第2四半期に申請した207件を含め4,185件の特許を申請中で、これまでに782件の特許を取得しています。

人材関連

TCSの従業員数は第2四半期に10,227人の純増となり、直近12カ月で最大の純増となりました。第2四半期末現在の連結ベースの総従業員数は411,102人となりました。女性従業員の比率は35.7%へとさらに高まり、従業員の出身国の数は147か国でした。

有機的な人材開発を目指すTCSの戦略を通じて累計1,240万時間の学習が行われ、またデジタルテクノロジーについては278,000人超の従業員に対し、またアジャイル開発手法については279,000人超の従業員に対し研修を実施しました。TCSは業界最高レベルの従業員保持率を継続しており、ITサービス部門の直近12ヶ月の離職率は10.9%を維持しました。

TCSの創業50周年事業の一環として取り組む最大規模の従業員参加型イニシアティブ「Billion Steps Challenge」において、従業員が専用モバイルアプリを用いて10日間で累計10億歩の記録達成を目指し、個人またはグループでのランニングおよびウォーキングに参加するプログラムを実施しました。このプログラムには世界から20万人が参加者し、累計30億歩を達成しました。

以上

Tata Consultancy Services Ltd (TCS) について

タタコンサルタンシーサービシズは、革新的かつ業界最高水準のITサービス、コンサルティング、およびビジネスソリューションを世界中の大手企業に向けて提供し、その変革への道りを支援している、ITサービス、コンサルティング、およびビジネスソリューション企業です。TCSはコンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用したBPS、エンジニアリング・サービスやソリューションを総合的に展開しています。これらを卓越したソフトウェア開発の基準として認識されている、TCS独自の「ロケーション・インディペンデント・アジャイル・デリバリー・モデル (Location Independent Agile Delivery Model)」を通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。

TCSは世界最大規模の多国籍複合企業体であるタタグループに属し、最高水準のトレーニングを受けた41万1,000人を超える人材を擁し、世界46か国で事業を展開しています。2018年3月31日を末日とする会計年度の売上高は190億9,000万米ドルで、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスやMSCIグローバル・サステナビリティ・インデックス、FTS4Eグッド・エマージング・インデックスをはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。

TCSの詳細については、www.tcs.comをご覧ください。